

令和4年2月14日

ご家族・身元引受人様
関係者 各位

社会福祉法人坂井輪会
理事長 細貝昌明
特別養護老人ホーム穂波の里
施設長 古藤悦子

新型コロナウイルス感染者の発生について 重要なお知らせ(第2報)

平素より当施設をご利用いただき誠にありがとうございます。

2月8日(火)、特別養護老人ホーム穂波の里れんげフロアの介護職員1名の新型コロナウイルス陽性に伴う、濃厚接触職員1名と利用者26名のPCR検査結果は、2月11日(金)に全員陰性と保健所より報告がありました。

しかし、2月12日(土)16:30に特養1階たんぼぼフロアの入居者1名が熱発し、施設看護師が抗原検査を行ったところ陽性が見られました。すぐに、同じフロアの入居者26名に抗原検査を行いましたが入居者3名の陽性を確認。坂井輪診療所の安達医師と保健所等に報告し、施設内での療養観察を指示され、職員も防護服(防護服・フェイスガード・マスク・ゴーグル・手袋)と消毒対応に努めております。

更に、2月13日(日)にはたんぼぼ入居者1名と職員4名の陽性を確認。入居者1名が入院し、14日(月)にも入居者1名が入院予定です。

濃厚接触者は、たんぼぼ入居者21名と看護・介護職員15名となり、16日(水)にPCR検査を行う予定です。2階のつくし、れんげの全入居者は13日(日)の抗原検査は陰性でしたが、れんげ職員1名が陽性となったため、今後の対応を保健所に確認中です。

県内の医療体制ひっ迫から、高齢者が陽性と診断されても救急隊からは「施設で入院先を探してほしい。」、近隣の医療機関からは、「身体の状態低下(有熱・血中酸素濃度等)が著しく悪化しなければ入院できない。」と言われ、体温が38度以上あっても血中酸素濃度が90%以上では入院困難と言われております。

保健所からの入院先探しは書類や聞き取り調査を数時間かけて行い、翌日、入院受け入れ先の連絡を漸く頂くような状況で、延命治療を望むご家族の意思確認が必要と言われております。緊急時にはご家族・身元引受人様にご連絡させていただきますのでご理解をお願いします。

また、県・市の介護保険課への報告は3連休であった為、本日用らせていただきました。

現在、感染経路は不明で、2月6日(日)にショートステイ穂波の里(隣フロア)の利用者から陽性が出たりや職員家族の陽性、職員の体調不良等も聞かれ、はっきりとわからないと保健所に言われました。

入居者の皆様やご家族・身元引受人の皆様には、多大なるご心配をおかけし心よりお詫び申し上げます。濃厚接触の職員も抗原検査を毎回行いながら不眠不休で業務しております。

今後も入居者の様子観察に努め、丁寧な報告に努めてまいります。

特別養護老人ホーム穂波の里

TEL 025-269-1600